

# 磐城時報

日刊 一タ  
編輯兼發行所 阿田 弘 成  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
廣告料 一行十文字 日金五十銭  
▲日刊 (日曜、祭日) 休刊

## 淺野の勢力を

### 福島縣から驅逐せん

#### 警械セメント會社の意氣込み

本縣内に於ける一大工場として、會社の特約店及び出張所ま知られてゐる資本金一千萬圓の、可成り長い間販賣して大會社四倉町警械セメント會社の、警械セメントがその地盤では目下陸前湊町に工場を設け、これだけ喰ひ入る事が出来る置すべく工事中にて本年の六月か經濟的に見て可成り味ある間までには竣工、同時に現在の四題だが現在日本に於て淺野と警械工場と同様の製産勢力を有し、城とはセメント界の双壁といはれ販賣するとの事であるが現在四倉に商署上争つてゐる關係にお倉工場では販路を本縣の濱三郡、一躍一千萬圓の資本金に及び茨城縣及び宮城縣の一部を増資し盛岡に大工場を設置した限定され特約店も割合に少かつ警械の新勢力は美事福島縣がたが淺新工場完成と共に之を淺野を驅逐する意氣込らしく一變し四倉工場の販路區域を福これからセメントの需要も多く島縣一帶となる由である、而しなるやさきであり相當興味ある仲通り特に福島市には淺野セメント問題として見られてゐる。

## 再び持ち上つてきた

### 平第三校問題

#### 町是調査會の意見

平町では年々就學兒童が男女二まで男子は第一、女子は第二の百名内外を増し第一、第二の兩校長が夫々管理する状態では不校に收容し切れないため舊警械便甚だしく不統一を免れない中學校舎へ現在十四學級七百餘で町是調査會の委員は數次會合名の男女兒童を收容し更に來る協議の結果いよいよ平町の南部新學期よりは四學級を増し十八方面に第三小學校を設ける外は學級となるので長く假教室のまゐるまいといふ意見一致今

三月中には大體町會としての意見を定め具体化するに至るであらうが一小學校の増設には少くも七八萬圓の巨費を要するので町財産窮迫の折柄理事者も頭を痛めてゐる。

## 石城の春蠶

掃立數増加  
石城郡の大正十五年度春夏秋蠶の本年掃立枚數は十五年度より總掃立枚數は三萬九千九百廿二枚は幾分増加するものと観測され收購高十九萬二千六百五十五貫

## 家主連には氣の毒な

### 營業收益稅

今迄はかくされてゐたが  
家賃収入が明瞭になる  
平稅務署では目下營業收益稅及年は何れも收益金を出来るだけ所得稅の調査資料を蒐集整理少くするに正確に申し立てる中本年から初めて實施されるやうになり家主連の所得は従來稅務署長が各所に出張講演宣傳帳となり意外な所で家主連は恐をなしてゐるが、收益稅となつた儘を来たしてゐる、なほ調査會で從來は等しく營業稅を課せられ四月十日開會の筈である。

## 機關士講習

小名濱町水産試驗場内に開催中の機關士講習會は三月二日に終了するので同日會場にて修了式を舉行する筈であるが修得者は三十名、縣からは佐瀬農商務課長、濱田水産技師等臨席する

## 物騒極まる運轉手

### 又々幼兒を轢き殺す

二十八日午前九時半頃小名濱町北陸地方が降雪のため貨車不廻宇中島地内道路で遊戯中の同町となつてゐたが雪解けと共に米吉孫小野(七)が疾走し、移り出さるゝに至つた爲同來つた運轉手成田榮太郎(二七)地方産米、壓倒され安値を示すの自動車第一六七號に轢き倒され、至つたもので苗代期の五月頃兩足を切斷され鮮血に塗れて、再び高値を呼ぶものと目され昏倒したので附近醫院に昇ぎ込み、急急手當を施したが間もなく死亡した、急報により同町松本二圓臺より下落せぬものと觀警部補出張成田某を過失傷害致測されてゐる。

## 越後米におされ

### 石城米下落

石城地方米價市況は左の如く一月上旬三十二圓五十銭を最低とし漸次高値を示し去る十九日の三十六圓を頂上とし再び漸次下平町の水道擴張工事は昭和元落の歩調をとり二十八日の市況年度内に大体完成するので町では三十五圓三十二銭と云ふ安値は九月中旬頃工事關係の功勞者責任の準備公判は一日平區裁判所小野村判事係りて開廷された

## 水道功勞者

### 表彰式舉行

平町は、華やかな美観の舞ひであり、必ずや平地方智識階級の人々の胸に深い印象を與へる事だろうと今から期待されてゐる、尚ほ藤田女學校では、創立以來若節二十有七年途に今日の隆昌を見るに至つた過去、並に愈々社會に奉仕せんとする將來、を表現した校歌の制定を希望してゐたが、今回女校長長文學士櫻井賢文氏の力作が出来上つたので當日之が披露をも兼ね行ふ事になつた、因に當日の會費は五十銭、經費の殘額は同校基本財産に加へる筈であるといふ。

## 童話の踊

### 久留島さんのお話や 乙女達の踊り

平町藤田女學校では來る十九日、二十日の兩日同校の盛大な同窓會を平劇場で開催し「童話の踊」といふ教育會理事として相應はしくも華やかな企てを試みる事になつた、當日は本邦に於ける通俗講演と童話の大家として巖谷小波氏と並び稱されてゐる久留島武彦氏が特に來臨し、

## 炭礦爭議

### 解決議說會

日本鑛夫組合常磐地方聯合會準備會主催常磐炭礦爭議解決報告演說會は三日午後六時から平劇場に於て開催左の各氏の演說が

- ▲日本勞農黨書記長三輪壽壯氏
- ▲同中央執行委員藤生久氏
- ▲自由法團團長松谷與二郎氏
- ▲日本鑛夫組合執行委員關家博氏
- ▲日本勞働組合同盟菊川忠雄氏
- ▲關東合同勞働組合田中元吉氏

## 内郷村の

### 横領背任公判

所作は、華やかな美観の舞ひであり、必ずや平地方智識階級の人々の胸に深い印象を與へる事だろうと今から期待されてゐる、尚ほ藤田女學校では、創立以來若節二十有七年途に今日の隆昌を見るに至つた過去、並に愈々社會に奉仕せんとする將來、を表現した校歌の制定を希望してゐたが、今回女校長長文學士櫻井賢文氏の力作が出来上つたので當日之が披露をも兼ね行ふ事になつた、因に當日の會費は五十銭、經費の殘額は同校基本財産に加へる筈であるといふ。

## カシキモ

### 平古鍛冶町一 茗荷屋貸衣裳店

平古鍛冶町一  
茗荷屋貸衣裳店

